



軽量ローラーシャックル 取扱説明書

1.はじめに

- ◆ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよくご理解頂いたうえで、ご使用ください。
また、必要と思われる部署や現場には必ず配布し、必要な場合にはいつでも参照できるようにしておいてください。
- ◆この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の2段階に区分しています。

 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いと考えられる場合。
 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が考えられる場合。

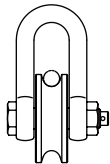
◆尚、『注意』に記載した事項でも、取扱い方法によっては、『危険』と同じ状況になる場合があります。

2.ご使用にあたって

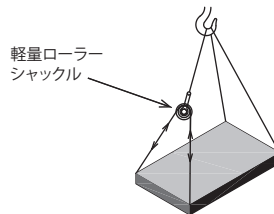
危険

- ◆使用荷重を確認し、使用荷重以下の荷重で使用してください。
使用荷重をこえて使用しますと事故の原因となります。また、衝撃荷重を掛けしないでください。
- ◆荷重を負荷した状態でシーブを回転させないでください。
シーブは荷重負荷状態の使用を想定しておらず、ピンの焼き付きや摩耗等の原因になります。
玉掛け作業時のワイヤロープのバランス調整及び、ワイヤロープの当たり低減にご利用ください。
- ◆使用前点検で外観上不具合や各部に異常がないか調べてください。外観上不具合や各部の異常がある場合はご使用にならないでください。
点検要領及び廃棄基準については「軽量ローラーシャックルの点検要領及び廃棄基準」を参照してください。
- ◆強度低下及び安全の低下を防止する為、下記の様な改造は行わないでください。
1. 機械加工等の追加 2. 溶接 3. 熱処理 4. 塗装、めっき処理 5. 塗装剥がし 等
- ◆想定していない下記の様な箇所で使用しないでください。
1. 高温雰囲気(200℃以上) 2. 溶接作業周囲 3. 水中 4. 腐食性雰囲気(酸、アルカリ等) 5. 寒冷地 等
- ◆使用方法については下記の図に基づき使用してください。

【正しい使い方】

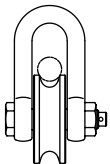


適用サイズのワイヤロープを使用

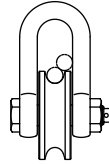


玉掛け作業時のワイヤロープのバランス調整

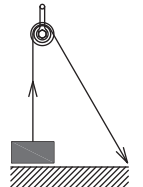
【誤った使い方の例】



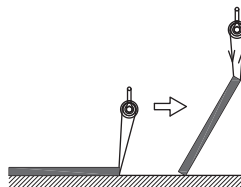
適用サイズを超えるワイヤロープの使用



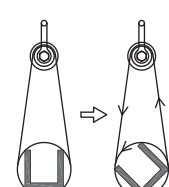
ワイヤロープが2重



滑車として使用



建て起こし・反転

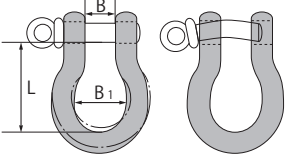
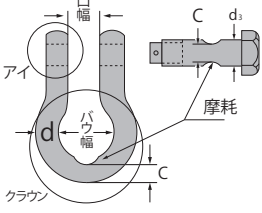
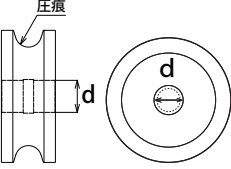
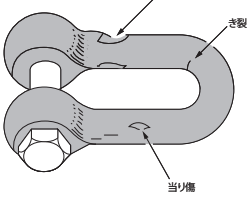
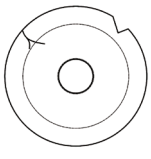
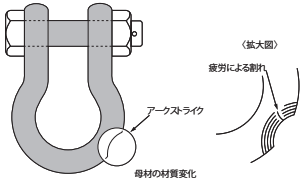
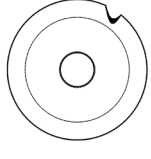
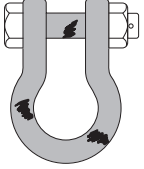
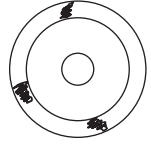
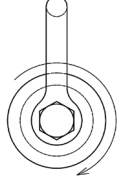
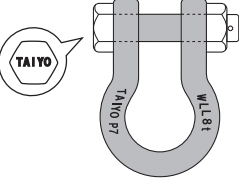


方向転換

注意

- ◆製品の投下、放り投げ、ハンマー等で強く叩く、重量物の下敷き等を行わないでください。
- ◆必要に応じて、シーブ摺動部にグリスを塗布してください。

軽量ローラーシャックル 点検要領及び廃棄基準

点検要領		点検頻度	点検箇所	点検方法	廃棄基準
シャックル	シーブ				
①変形 		<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	本体 ボルト ピン	目視 計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> 本体及びボルト・ピンの変形しているもの。 ネジが完全に入らないものや割ピンの入らないもの。
②摩耗 		<input type="checkbox"/> 定期点検	クラウン部 ボルト シーブ	計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> (d) (d3) (C)寸法を測定し、元の寸法より5%以上摩耗しているもの。 シーブ溝部にワイヤロープの圧痕が残っているもの。
③傷・き裂 		<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	本体 ボルト シーブ	目視	<ul style="list-style-type: none"> き裂があるもの。
		<input type="checkbox"/> 定期点検	本体 ボルト シーブ	計測機器 (ノギス等) 探傷検査 (必要に応じて)	<ul style="list-style-type: none"> 当たり傷、切り欠きがあるものはグラインダー等でなめらかに削り取り、その深さが元の寸法より5%以上減少するもの 手直し後、磁気探傷検査、またはカラーチェックを行い、手直し後の寸法が、元の寸法より5%以上減少するもの。
④アークストライク 		<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	全体	目視	<ul style="list-style-type: none"> アークストライクがあるもの ※アークストライクとは、溶接を開始する際などに、溶接棒を不用意に接触させてしまい、アークを発生させることによって生じるもの。
⑤腐食・さび 		<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	全体	目視 ブラシ	<ul style="list-style-type: none"> 使用上有害な腐食・さびがあるもの。
⑥回転 		<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	シーブ	目視	<ul style="list-style-type: none"> 組立後、手動によりシーブが回転しないもの
⑦刻印 		<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	本体 ボルト	目視	<ul style="list-style-type: none"> メーカー名、使用荷重、ロット番号が読み取れないもの

※摩耗率を求めるために、購入時にサイズを計測してください。
 ※使用開始日より10年を超えるものは、交換を推奨します。